

「揺れるところを見える化する」トーキングマット®日本語版のご紹介 ～ご本人の意思・選好・価値観を探り、支援に活かすために～

一般社団法人 日本意思決定支援ネットワーク
小杉弘子（発表者）、於保真理（共同発表者）

1. 私たちのこと

私たちは、行政・司法・福祉・医療・介護・教育機関及び民間企業など様々な分野に所属するメンバーから構成される一般社団法人であり、障害のあるなしに関わらず、誰もが、自信と誇りをもって、心からの希望に基づく意思決定と可能性を追求できる社会を目指して活動しています。主たる活動としては、「意思決定支援」をテーマに、認知症のある人や知的・精神障害・身体障害のある人が自ら意思決定できるように、あるいは意思表示そのものが難しくてもご本人の思いや価値観を支援者が読み取ることができるように、支援者の支援スキルを高めるための各種研修などを提供しています。

2. トーキングマット日本語版について

言葉によるコミュニケーションが可能であったとしても、自分の心の中の思いをうまく表現するのは容易ではありません。もし、様々な障害等により、言葉の表出が難しい場合には、さらにご本人の心からの希望を読み取ることが難しくなります。

トーキングマット（Talking Mats）は、もともとは1998年に英国スコットランドのスターリング大学の研究者により開発された、絵カードを用いた視覚的なコミュニケーションツールです。様々なテーマ（トピック）が用意されており、英国では主にソーシャルワーカーや言語聴覚士等の支援者が、認知症や知的障害、その他コミュニケーションに困難さのある人に対する支援で活用しています。日常生活はもちろんのこと、リハビリテーションや介護予防における目標設定、さらには医療や介護における重要な局面においてご本人の意思や選好、価値観を把握して思いを探るなど、意思決定支援の第一歩を踏み出すための支援ツールであるともいえます。

私たちは、2020年にこのトーキングマットの日本語版を開発・翻訳し、現在は各地でトーキングマットの効果的な使い方を学ぶ研修を開催しています（2022年12月には、八王子市リハビリテーション専門職協議会 コネクト八王子の皆様にも受講していただきました）。第18回フォーラムでは、トーキングマット日本語版の実物も展示いたします。お手に取って頂ければ幸いです。



トーキングマットを用いた会話の様子
(ご本人の承諾を得て写真を掲載しています)



当法人のHP もご覧ください